

学校名	UKONGA Primary School	ID	I-5	WARD	UKONGA	Municipality	ILALA
住民集会結果概要(基本設計調査時)							
開催日	2001年5月7日			参加者	計 23名 (生徒の親=7名、校長・教師=10名、学校運営委員会=6名)		
Problem Ranking				代表的な意見			
非常に問題あり	<ul style="list-style-type: none"> 教室が過密である 机と椅子が不足している トイレ数不足 水がない 教科書不足 教員用住宅の不足 教材不足 フェンス(塀)がない セキュリティが不十分である 			生徒の親: <ul style="list-style-type: none"> ●(教員用住宅の必要性について)教員にはモチベーションが必要。 ●セキュリティ問題についてはもめている。 ●(新しい学校への人気集中の懸念に対し)生徒が得たいのは知識で、(教室が)新旧は関係ない。 ●教室建設だけでなくとどまらず、その後の維持が必要であろう。 ●(導入が予定されている無償化導入により維持管理費はどうか)無償にはなってもコミュニティからの寄付がなくなるわけではない。 ●Ukonggaの人々はみな「開発」に熱意を持っている。だから教室建設の後も心配する必要は無い。過去には、土地を寄進した経験もあり(現在はモスクとなっている)。 ●試験合格率が低いのは問題ではない。原因は生徒/教室の過密にある。 ●問題として挙げられた全項目(「教室の暗さ」、「教室の過密」、「トイレ不足」、「セキュリティ」等)が、試験合格率低さの原因である。 ●イララ県内にある中等学校の数が足りない★1。 ●学費を払えないのは、全ての人の問題ではない★2。 ●学校運営委員会は学費を払っていない家庭を訪れて説得している。 ●教室に屋根さえあれば天井はなくてもいい。 ●ミーティングルームのコミュニティ利用について)使用目的は教育、あとは保護者集会で用途を決定する★3。 			
	問題なし	<ul style="list-style-type: none"> 教室が適切に維持されていない 教室の状態が悪い(床、屋根) 天井がない 教室が暗い 親全員が学費を払える訳ではない 			学校運営委員会: <ul style="list-style-type: none"> ●学校周辺に住んでいるが、生徒が家の陰に隠れているのをよく見かける。 ●新設教室(学校)の維持管理は問題ない★5。 ●(維持管理体制に関し)親は子供に教育を受けて貰いたい、と願っている。学校運営委員会を信じている。 ●財務管理レポートは、保護者集会で配布して読み上げて議論する。 ●(ミーティングルームのコミュニティによる利用可能性について)、コミュニティが利用する場合は使用料を徴収する。 		
校長・教師: <ul style="list-style-type: none"> ●飲料や清掃に水は必要。現在近くの井戸水を利用しているが、あまりきれいでないために、トイレ清掃用のみ使用★1。 ●教員用住宅がないため、遠くに住んでいる教員は遅刻する★2。家に帰ると疲れる。学校周辺に住んでいれば、宿題の採点などその他、教育活動に専念できる。 ●教材がない(特に実験器具、木工用機械、ミシン、コンピュータ等)。授業が理論に偏りがちで実践的にならない。 ●セキュリティの問題。フェンス(塀)が無いため、管理が行き届かず、生徒が自由に出入りする。事故(盗難等)もある。 ●未就学児童や卒業生が学校にいる生徒達を誘って、外に連れ出す。 ●塀がないため、生徒が逃げないよう気を付けねばならず、授業を教えることに集中できない★3。 ●教室増設の際には学校を二分した方がよい。運営が楽になる★4。 ●(新校への人気集中につし)分割方法は県教育局が決める。生徒はこれを拒否できない。 ●維持管理活動は親にとって負担となっている。 ●寄付金について、親を対象としたフォローアップを行っている。 ●古い教室は天井が低く、暗くて暑い。 ●ミーティングルーム(3教室分の広さの部屋)がない(校長)★6。 ●(分割の際のフェンス要否について)運営が別なので塀で区切った方がいい(校長)。 ●生徒管理に要フェンス。既存校と新校とで生徒が混同する。 				備考: <ul style="list-style-type: none"> ★1 トイレ清掃に必要な水汲みは生徒の役割(男女差は特になし。但し観察時には女生徒が行っていた)。所要時間は約15—20分。 ★2 推算で教員の半分が通勤時間1時間以内(校長談)。 ★3 授業をエスケープする者の数はさほど多くは無い(校長談)。夜は警備が2名いる。 ★4 (他の新設校の大半が初年度の入学を1学年のみとしており、二分した場合新設校における学年構成はいかなる形をとるのかについて)「過密緩和のため、全学年を移動させる」旨校長より説明があった。また、仮に供与される教室が6校(6校あれば、1および2年は共有で各学年1教室の増設の算段)未済であっても、不足分は自分達で建てられる旨、親より発言があった。 ★5 (学費徴収の方策、高い回収率の秘訣について)親の意識化を実施しており、学校の現状を親に見せる機会を持つ、会計のフォローアップを実施していること(素晴らしい財務レポート)等が学校運営委員会より説明された。 ★6 議論の中で、「中等学校不足」と「Form1試験合格率」の問題カードは排除された。 ★1 議論の中で、「中等学校不足」と「Form1試験合格率」の問題カードは排除された。 ★2 学費を払えない家庭の子供は翌年どうなるのか質したところ、「問題なし」との回答を参加者ほぼ全員から得た。 ★6 ミーティングルームの用途について質したところ、「Life Skill Subject, Cooking, Handwork, Open Day for Parents(この行事は年に1回)に使う」との回答を得た。 ★3 可動式壁を利用した多目的教室設置の可能性について、一同から賛成を得た。 			
生徒インタビュー結果概要(基本設計調査時)							
項目	女子			男子			
回答者	6名(7年=4、6年=2)			5名(7年=3、6年=2)			
教室状況	<ul style="list-style-type: none"> ・1教室当り生徒数は、60-70人(3)、86人(1)、97人(1) ・壁の損傷が著しい(穴、クラック) ・雨漏り・床の損傷・黒板やドアの質が悪い ・黒板は「見える」(3)、「見える人と見えない人がいる」(2) ・全員が3-4人ずつ椅子に着席している・教科書は、3-4人に1冊 			<ul style="list-style-type: none"> ・狭すぎる(5)、暑い(1)、暗い(1) ・全員が3-4人ずつ椅子に着席しているが、机が足りない ・黒板は教室後方からは見えにくい、前方からは問題ない ・教科書は3-4人に1冊 			
学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で好きな場所は、「木の下」(2)、学校の正面、校舎裏の運動場、花壇、木の下、教員室 ・嫌いな場所は、「トイレ」(全員) 			<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で好きな場所は、「教室」(全員) ・嫌いな場所は「校舎裏」(全員)、理由はトイレがあり悪臭がするから、汚いから 			
トイレ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭(3)、水がない(2)、セメントが剥れている(1)、狭い(1) ・できれば使いたくない・数不足、列ができる ・男子が女子トイレに入ってくる、理由は不明 ・男子はピットの外に用を足すので汚い 			<ul style="list-style-type: none"> ・トイレはほぼ毎日使用(全員) ・悪臭、汚い 			
男女別トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別棟がよい 			<ul style="list-style-type: none"> ・男女別棟がよい ・トイレに入るのを異性に見られるのは男女共に嫌だから 			
通学	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩(全員) ・通学時間は、「10分」(3)、「15-20分」(2)、「30分」(1) ・Ukonggaが最近隣校(全員) 			<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩(全員) ・通学は5-10分 ・Ukonggaが最近隣校(4)、Gongolamboto(1) ・学校の選択基準は教師の質 			